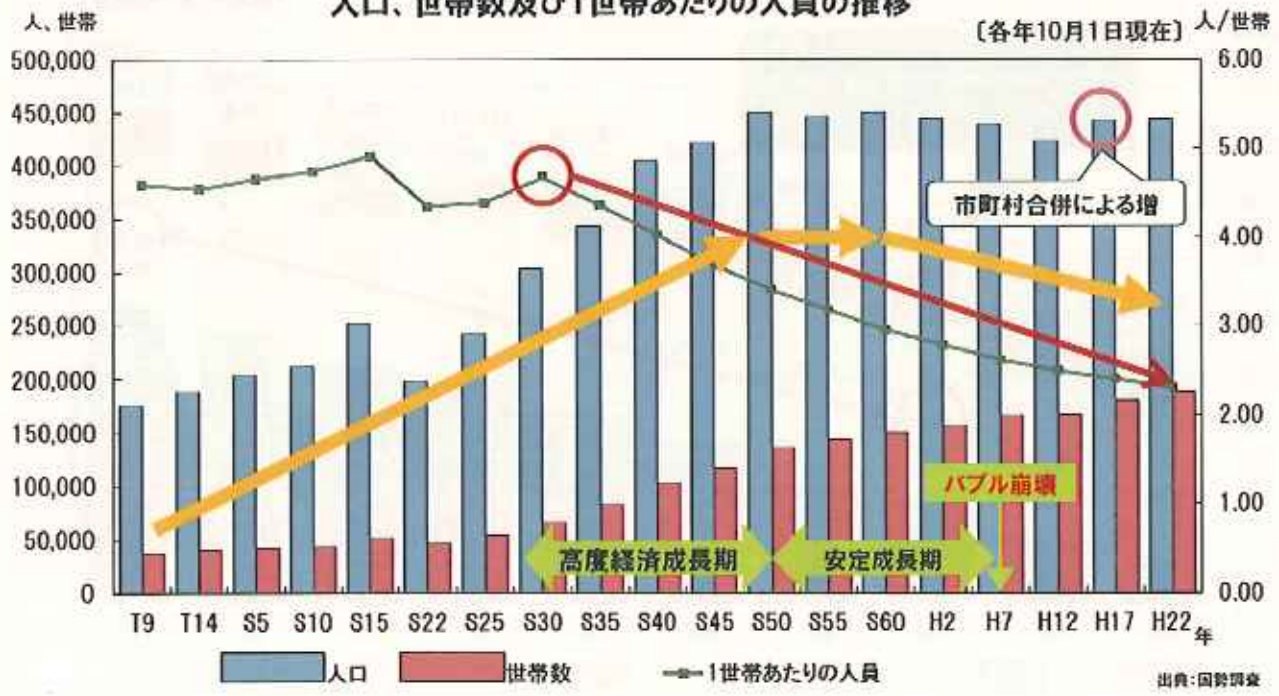


長崎市政の 主な取り組み状況

人口減少
の社会へ

- 人口** 高度経済成長期(昭和29年～48年)まで増加
安定成長期(昭和48年～平成3年)後半から減少
- 世帯** 高度経済成長期前半から1世帯の人数が減少
>>>>>>核家族化の進行

人口、世帯数及び1世帯あたりの人員の推移



少子化・超高齢化社会へ

- ◎少子化は止まらず、団塊の世代(第1次ベビーブーム)が高齢化
- ◎このまま推移すると、平成47年には…
1.36人で1人の高齢者(65歳以上)を支えることに!

人口ピラミッドの推移



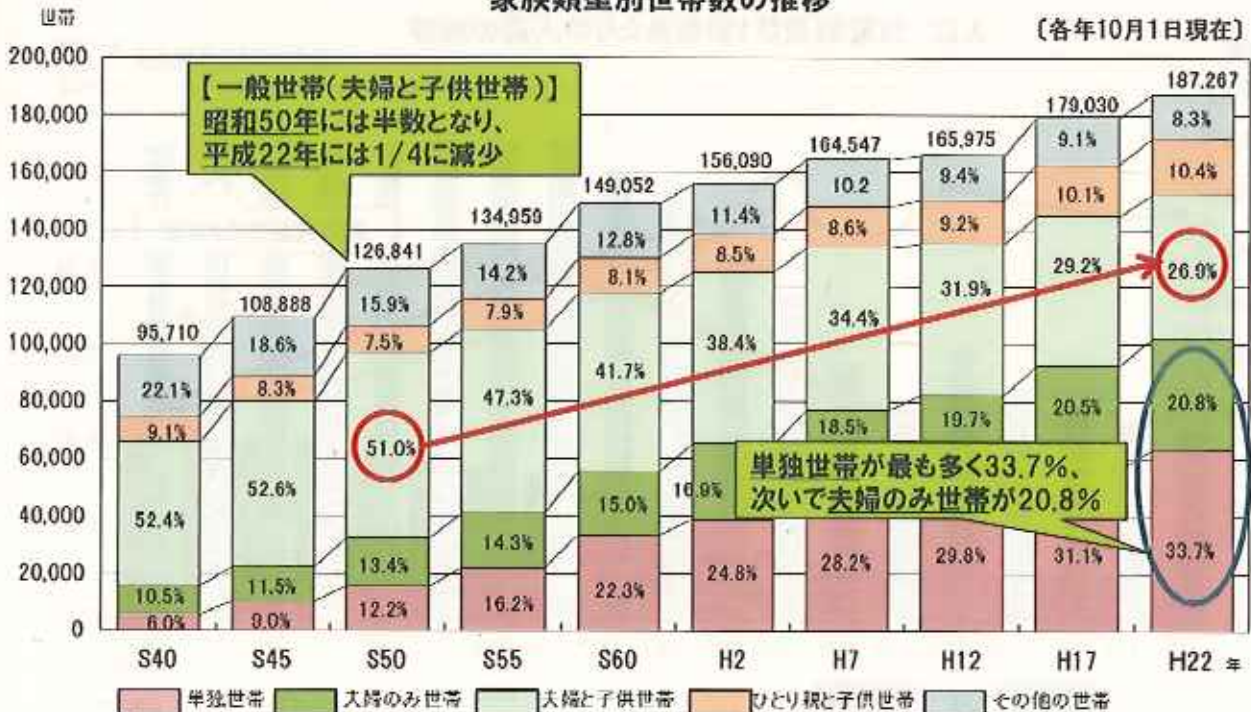
出典:国勢調査(昭和25年~平成22年)
国立社会保障(平成47年)

※下段の人数は、高齢者1人を支える生産年齢人口(15歳~64歳)の人数

最も多い単独世帯

- ◎もはや一般世帯とは呼べない
>>>>>> 「夫婦と子供世帯」は全世帯の1/4
- ◎「単独世帯」と「夫婦のみ世帯」が増加 ⇒ 全世帯の半数以上

家族類型別世帯数の推移



厳しい 財政状況

歳入

自主財源の割合が低い

⇒ 市税収入が乏しく、国(交付税)などへの依存度が高い

歳出

義務的経費の割合が高い

⇒ 自由に使える経費が少ない

自主財源の割合:中核市40市中**38位**

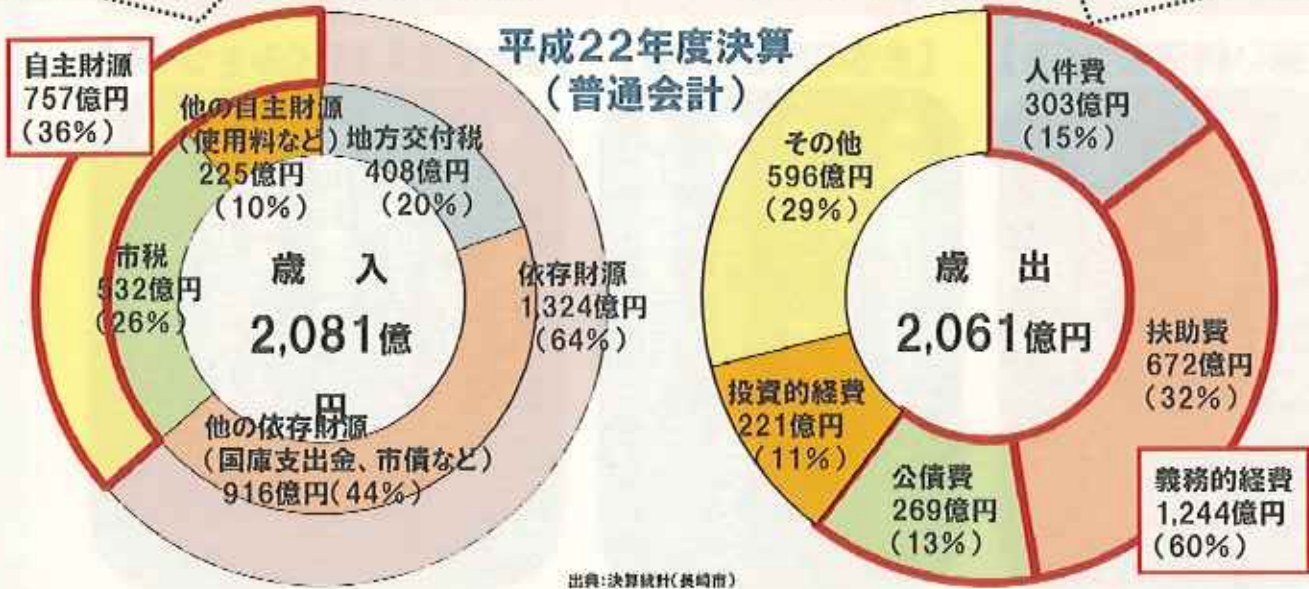
・中核市の平均:790億円(51%)

・長崎市:757億円(36%)

義務的経費の割合:中核市40市中**37位**

・中核市の平均: 795億円(53%)

・長崎市:1,244億円(60%)



3つの進化

経済

経済を強くする、
特に外向きの経済を強化するチャンス

まちの形

50年、100年先の
まちの形の基盤をつくるチャンス

まちを支える
仕組み

全員プレーヤーでまちを支える
新たなしくみをつくるチャンス

局制の導入 11の重点プロジェクトの実施責任者

総務局長



市民局長



経済局長



建設局長



専任政策監

11の重点プロジェクト

【強い経済をつくる】

- 上海航路プロジェクト
- 長崎サミットプロジェクト

【まちの形をつくる】

- 地域振興プロジェクト
- 出島表門橋架橋プロジェクト
- まちなかの魅力
《見える化》プロジェクト
- 都市再生プロジェクト

【まちを支えるしくみをつくる】

- シェアと改革プロジェクト
- 行政サテライト機能
再編成プロジェクト
- 市庁舎建設プロジェクト
- 地域のコミュニティの
しくみづくりプロジェクト
- 長く元気でープロジェクト

長崎のまち



〈将来の都市像〉

個性輝く**世界都市**
希望あふれる**人間都市**



〈まちづくりの基本姿勢〉
つながりと創造で
新しい長崎へ

長崎市第四次総合計画

〈まちづくりの方針〉

私たちは…

- ◆A 「住む人が誇り、だれもが訪れたいまち」をめざします
- ◆B 「平和を願い、求め、つくるまち」をめざします
- ◆C 「活力に満ち、発展し続けるまち」をめざします
- ◆D 「環境と調和する潤いのあるまち」をめざします
- ◆E 「安全・安心で快適に暮らせるまち」をめざします
- ◆F 「人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」をめざします
- ◆G 「豊かな心を育むまち」をめざします
- ◆H 基本構想の推進(つながる+創造する)

個性を活かした交流の拡大

長崎の歴史や文化、産業などを磨いて、まちの品格・魅力を高める

≫「市民が誇れるまち」「訪れたいと思われるまち」「多くの人が交流するまち」

◆世界遺産登録の取り組み

◆まちなかの魅力を見える化

- ・町屋の保存・活用に対する支援など

◆出島の整備

◆上海航路の外国人観光客対応

◆コンベンション施設設置の検討

◆観光振興

- ・稲佐山山頂通路(光のトンネル)の整備
- ・日本夜景サミットの支援



平和の発信と世界への貢献

被爆体験を継承し、核兵器廃絶と平和を希求する強い意志を発信する

≫平和への願いを共有するすべての人と手を携え、世界平和に貢献する

◆平和推進施策のさらなる充実

- ・長崎大学核兵器廃絶センターとの連携

◆平和都市ナガサキの発信

- ・平和都市市長会議加盟都市での原爆写真展

◆国際交流による平和の構築

- ・サントス市姉妹都市提携40周年記念事業
- ・ヴュルツブルク市との市民友好都市提携



長崎の産業にしか提供できない価値を創造し、国内外の市場に満足と感動
 >> 市民がやりがいのある働く場に恵まれ、経済・産業活動が活発に展開

◆地場産業の競争力強化

- ・大型客船等の建造に伴う企業の人材育成
- ・共同開発等に取り組む地場企業への支援

◆域外経済への進出及び域内経済の循環

- ・物産展・商談会によるアジア諸国への販路拡大
- ・中心市街地及び地域商店街の活性化

◆農林水産業の経営安定



循環型で低炭素な環境と調和のとれた持続可能なまちの実現
 >> 地球環境の保全に貢献し、潤いのある長崎を後世に引き継ぐ

◆次世代エネルギーの利用拡大

- ・街路灯のLED化
- ・住宅用・事業所用太陽光発電設備設置補助
- ・「ながさきエコライフ・フェスタ」などの充実
- ・「東長崎エコタウン構想」の支援

◆人と自然との共生の推進

◆良好な環境の確保

- ・下水道未整備地区の解消



「防災、防犯などの危機管理体制が整ったまち」

「道路や公共交通機関、情報などのネットワークで結ばれた効率的で快適なまち」

◆東日本大震災の教訓を活かした事業

- ・自主防災組織の結成促進と活性化

◆犯罪のない地域づくりの推進

◆安全安心な住環境づくりの促進

- ・老朽危険空き家対策事業の対象地域拡大

◆交通の円滑化

- ・補助幹線道路の整備(虹が丘西町線など)

◆都市再生の推進(長崎駅周辺など)



「それぞれの立場を超えて支え合うまち」「だれもがいきいきと暮らせるまち」

「次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つ環境が整ったまち」

◆高齢者が暮らしやすい地域づくり

- ・高齢者ふれあいサロンの増設
- ・地域包括支援センターの増設

◆障害者が暮らしやすいまちづくり

◆子どもの健やかな育ちの支援充実

- ・子育て支援センターの開設

◆自ら進める健康づくり

- ・健康づくり推進員の育成

◆安心できる医療環境の充実

◆原爆被爆者援護



重点テーマ7 創造的で豊かな心の育成

「市民一人ひとりが生涯を通して学び合い、心豊かに成長することができるまち」
「長崎独特の歴史や文化を守り、新たな文化を育てる、文化の薫り高いまち」

◆時代の要請に対応した教育活動の推進

- ・子育てについて親が学び合う「ファミリープログラム」
- ・学校図書館司書の増員
- ・上海航路を利用した青少年のリーダー育成



◆教育環境の整備

- ・小中学校校舎等耐震化の推進
- ・野母崎地区小中学校の建設工事着手



◆スポーツ及び芸術文化の推進

- ・「長崎がんばらんば国体」の開催準備

重点テーマ8 多様な主体による地域経営

「地域コミュニティの活性化」「市民、企業、行政の協働」「自律的な地域経営」
≫多様な主体がネットワーク化し、新しい価値や仕組みを創り出していくまち

◆地域コミュニティの活性化

- ・「地域コミュニティあり方委員会」の設置
- ・地域担当職員の配置
- ・行政サテライト機能の方向性の提示
- ・市庁舎建替え建設場所の確定



◆協働できる環境の整備

- ・「自分新化講座」の実施
(さだまさし氏プロデュース)

◆しごと改革

- ・事務の効率化と事業の重点化

◆効果的、効率的な行財政運営

